

各 位

2024年 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は当社業務に一方ならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の日本経済は、不安定な世界情勢の影響を受け、為替・原料価格とも不安定な状況が継続しましたが、新型コロナウイルスの第5類感染症移行により、社会・経済活動がパンデミック以前の状態に戻りつつあることなどから、明るい兆しも見える年越しとなりました。

当社グループにおきましては、国内は紙だけでなく板紙の生産量減少の影響もあって特に売上面で厳しい状況が続いたものの、海外では、特に中国で製紙用薬品事業での原料価格の落ち着き、KJケミカルズの機能性モノマーや新綜工業の粘着剤需要の回復などが見られ、グループ全体の業績は底打ちの兆しが出て参りました。

また新規事業関連では、従来からの取組みであるセルロースナノファイバーや銀ナノワイヤ、脱プラスチック化を後押しするSEIKOAT®の製品群などの進捗に加えて、昨年度からグループ入りしたマリナノファイバー社の製品群の拡販や、バイオフィilmコントロール剤の上市など、新たな展開も出てきています。

さて、当社は2023年中に、将来の方向性を定める大きな判断を致しました。ホームページにて公開いたしました通り、当社はプライベートエクイティファンドであるThe Carlyle Group（関係会社及びその他の関連事業体を含め、以下「カーライル」といいます。）傘下のインビジブルホールディングス株式会社による、当社の完全子会社化を目的とした当社普通株式に対する公開買付けに賛同を表明し、昨年10月18日に公開買付けは無事成立いたしました。その後、11月30日の臨時株主総会での株式併合の決議を経て、12月28日には当社株式が東京証券取引所から上場廃止となり、本年1月15日より新たな資本構成の下での再出発となる予定です。

旧株主の皆様におかれましては、永年に亘り、当社の経営にご理解と温かいご支援を賜りましたこと、改めて心より深く感謝申し上げます。

今後、当社グループは、カーライルのサポートも受けて、当社グループの成長を加速させるための様々な施策を進めて参ります。絶え間なく変化する環境の下で、自らも現中期経営計画「OPEN2024」のスローガンとして掲げている「Change」の精神で、グループ全社員が一丸となって、よりよい未来を創り出すための変革を成し遂げてまいります。各事業セグメントにおける事業基盤の強化、海外展開の加速に加えて、グループシナジーの追求、従業員のモチベーション向上に繋がる各種施策の実施にも取り組んで参ります。

なお、資本構成は変化いたしますが、現在の事業に引き続き注力してお客様を第一に考え、大切にしていこうの方針には何ら変更はございません。今後もお客様と社会のご要望にお応えすることで繋がりを更に確かなものにしていく所存でございます。

今後とも倍旧のご支持を賜りますよう、よろしくご祈り申し上げます。

本年が、皆様にとって幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2024年 元旦



星光PMC株式会社

代表取締役社長執行役員 菅 正道

